

令和6年度 第1学期始業式 校長講話

皆さん、おはようございます。

今日から新年度がスタートします。3年生は締めくくりの年です。勉強に、部活動に、学校行事に全力で取り組み、将来の進路決定に向けて、悔いの残らない1年にしてください。

特に、部活動は最後の大会やコンクール、発表会まで、カウントダウンの段階に入ってきているのではないのでしょうか。日々の練習を大切にして、有終の美が飾れるよう期待しています。

そして、殆どの方が進学することと思いますが、第1志望は絶対に譲らないという覚悟をもって、部活動や生徒会活動で得た粘り強さを発揮し、文武両道を貫くことを切に願っています。

また、2年生は午後に後輩が入学してきます。部活動や学校行事において、3年生に頼ることなく、学校の中心としての自覚と責任をもち、3月の修了式での私の話「尊敬される先輩、信頼される先輩」として、後輩を牽引してほしいと願っています。今は分かりませんが、明治大学野球部の寮では、最上級生の4年生がトイレ掃除を行うというしきたりがありました。大学野球の名門と言われる所において、トイレ掃除を最上級生が率先して行うという伝統が、結果的に野球においても素晴らしい実績を残しているのでしょう。先輩となる皆さんには自ら苦勞を買って出てほしいものです。その姿勢や行動を後輩は見ています。

それでは、今年度最初の授業日にあたり、昨年の始業式にもお話をした2点について、改めてお話しします。

まず1点目、本校の校訓「文武両道」についてです。

本校の学校案内には、文武両道の「文」とは知を高めることであり、「武」

とは心と技を磨くことである。そして、「文」と「武」は互いに支え合い、高め合うと書かれています。

一般的な解釈として、文武両道とは「文」と「武」の両方に一生懸命に励む姿勢のことを指しています。それが心身を鍛え、学習力、技術力などを向上させ、ひいては集中力、忍耐力、「grit=やり抜く力、粘る力」を高めることに繋がります。

ところで、この文武両道に励んでいる人は、一般に時間の使い方が上手い人ではないでしょうか。ダラダラと勉強したり、徒に時間だけかけて部活動を行うことも少ないでしょう。部活動も目的意識をもって集中して行う人が多いと思います。

皆さんには、平等に1日24時間が与えられています。その24時間を健康を考えながら、如何に有効活用するかにかかっています。

例えば、通学に時間がかかる人は、電車やバスの中など、隙間時間を如何に有効に使うかにかかっています。また、夜直ぐに眠くなる人は、朝早く起きて勉強したり、早く登校して静かな環境の中で学習時間を確保したりするなど、生活リズムを早く確立するかにかかっています。

要は、漫然と毎日を過ごすのではなく、自分に合った文武両道を追い求めることが、充実した高校生活を送ることに繋がります。それが最終的にはあなた自身を高め、ひいては進路実現にも繋がるということです。

次に2点目、皆さんには改めて「凡事徹底」に努めてほしいということです。

これは学校生活に留まらず、社会生活にも言えることですが、例えば、約束の時間は守る、廊下で先生方とすれ違った時には自ら進んで挨拶をする、自転車の並行走行はしない、家や部室に入る時には靴を揃える、自分の目の前にゴミが落ちていたら拾うなど、やるべきことを習慣化してほしいという

ことです。

よく言われる、「時を守り、場を清め、礼を正す」という基本的な積み重ねが、人間性を高め、他者から尊敬され、社会に出た時に信頼される人材として登用されるのです。

今やデジタル化が進み、学習活動の中にも生成A Iの活用がまさに始まるころまで来ていますが、人として今申し上げた心掛けを持ち続けることはとても大切です。改めて「凡事徹底」に努めてください。

今日は新年度の始まりに当たって、初心にかえり、「自分に合った文武両道を追い求めること」、「学校生活を含めた日常の凡事徹底」の2点について、お話ししました。

最後に、今年度も生活と学習の記録を継続し、振り返りを通して、将来に繋がる自己分析力を高めてください。

それでは今年度もどうぞよろしくお願いいたします。